

令和2年度

# 学校関係者評価報告書

学校法人増田学園千葉女子専門学校  
学校関係者評価委員会  
(R. 3. 2. 22)

# 令和2年度 学校関係者評価報告書

## I 重点目標について

### ○令和2年度の重点目標

豊かな感性と表現力を持った魅力あふれる保育者を育成する。

### ○達成計画・取組方法

- 1 授業研究・教材研究に積極的に取り組み、指導面での充実を図る。
- 2 学生の資質や能力を最大限に引き出すための実践的な保育技術等の習得又は向上をめざす。
- 3 実習先との密な連携を図り、保育実習・教育実習・施設実習の充実を図る。

### ○学校関係者評価

学生の生活環境や健康管理への配慮など、コロナ禍における新しい生活様式を理解している校内環境であり、全体的にはよく取り組んでいることがうかがえる。指導体制の見直しを図りながら、更なる向上を努めていただくとともに、社会のニーズに応えられる保育者の養成に教職員が一体となって今後も取り組んでいただくことを期待したい。

## II 各評価項目について

### 基準1 教育目標・理念

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 本校の教育理念・目的・育成人材像については、学生、職員に対して周知されており、外部に対しては、HPや学校案内等で紹介し、その浸透に努めている。</p> <p>2 また、保育科の教育目標、育成人材像についても、本校が特に重点をおいている表現活動やカリキュラムの充実を図りながら、本校としての特徴をアピールしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場で活躍している卒業生の評判を耳にすることがあるが、しっかり取り組んでいるようなので、目的にあった人材の育成ができていないのではないかと感じている。</li> <li>・学生の評価も、ほぼ教育目標を理解し、取り組んでいる姿がうかがえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生や実習先との連携を図りながら、今求められている保育者像を追求し、その実現に努める。</li> <li>・新教育課程に基づくカリキュラムで実施して2年目である。本年度はコロナ禍で、主体的で共同的な学びに制限があったが、今後も工夫し実践的な保育技術の習得に努めていく。</li> </ul>

### 基準2 学校運営

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 年間事業計画にそった運営活動は、教職員の連携のもとで円滑に推進されているが、教職員間の重複した業務の整理が必要がある。</p> <p>2 授業科目ごとの出欠席や成績評価等の管理システムを導入し業務の効率化を図っているが、機能が多様なため、有効活用には職員への更なる周知を図る必要がある。</p> <p>3 学生指導においては、学年単位での早期の個別対応により成果が出ている面もあるが、さらに学校全体で連携しての体制づくりが今後も必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも、職員の連絡体制の充実を図り、また、学生の声を吸い上げながら学校運営にあたっていただけたらと考える。</li> <li>・システムの導入と活用が素晴らしい。今後も有効活用していただきたい。多くの職員が活用できるようになることが今後の課題と思われる。情報の共有と迅速な判断と早期の対応は、学校運営、生徒指導において重要と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間の役割分担と運営機能の明確化を図り、引き続き、重複した業務を整理していく必要がある。</li> <li>・学生ごとの各授業の出欠席や遅刻等の状況を2週間ごとに職員会議で確認できる。気になる学生については、早期発見できる手段の1つであるため、学年と学校全体で連携し個々の学生への対応を行うように努める。今後とも学生の生活指導に役立てていく。</li> </ul>

### 基準3 教育活動

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 きめ細かな教育活動の実現を図るため、クラス担任制で授業を展開している。</p> <p>2 学習指導においては、保育者養成校であることをふまえ、具体的事例や実践的な内容に重点を置いて、より内容を精選しながら体系的に授業展開を行っている。</p> <p>3 就職支援の一環として、公立の保育園・幼稚園の就職をめざした公務員試験対策の学習会や面接指導を実施し、合格者を出すことができた。</p> <p>4 実習を終えた2年生が実習体験を1年生に報告する場を設定し、実習に向かう心構えや実習についての理解を深めることができた。</p> <p>5 教員の資質・指導力の向上のため、各種研究会や発表会への積極的参加と教育実践記録等の執筆を奨励している。また、文科省からの通知等はタイムリーに共有できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今やパソコンの操作技術は、どの業界に就職するにしても必要なスキルであり、学生にはしっかり学んでほしい。</li> <li>・ 就職後、5年未満の卒業生に来校していただき、現場の生の声を聴く機会を持つことで、職業への理解が深まると考える。 ピアノの授業を見学したとき、個室での指が受けられるところがとても良いと思った。ピアノだけでなく、個室での指導は他への活用ができるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報処理の授業内だけではなく、日常の資料作成やレポート作成においても、パソコンの有効活用の指導に努める。</li> <li>・ 約30の保育所・幼稚園等の合同説明会を本校で行う際に卒業生も来校し、ブースごとに現場の生の声が聴ける機会があるが、継続と共に更なる工夫を凝らしていきたい。</li> <li>・ 一人1台のタブレット端末を購入し、今後、遠隔授業や動画の作成等の活用に努める。</li> <li>・ 教育実習に出るための要件の明確化とそれを意識した日々の教育実践を一層推進する。</li> <li>・ 本校研究紀要の発行回数を増やすことで、教員の実践記録等を掲載しやすくするとともに相互の研修意欲と資質の向上を図る。</li> <li>・ 文科省通知等は今後も早期に共有する。</li> </ul>

### 基準4 学修成果

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 保育園・幼稚園・こども園等からの求人件数が今年も1,600件以上となり、希望者全員の就職をめざして取り組んでいる。</p> <p>2 履修不足の学生には補講授業の実施等、個別指導を行いながら、卒業予定者全員に初期の目的である保育士資格と幼稚園教諭二種免許状の両方を取得できるよう指導の徹底を図っている。</p> <p>3 進路変更等による退学者が1名、腰痛の治療のため休学者が1名だが、個別指導や相談等とおして、継続して学校生活を送れるよう、できる限りの環境支援を行ってきた。</p> <p>4 就職後の職場で、即戦力として活躍できるように、保育者としての知識・技術・技能の向上に努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。</li> <li>・ 先生方が一生懸命に生徒たちのことを考えているところに感動した。</li> <li>・ アルバイトやボランティア等を通して今の姿を多く経験することは大事である。今、現場では「コロナ封じ」のために、様々な対応をしています。</li> <li>・ 即戦力として働けるのは大きい。力をつけることは重要ポイントである。しっかりと教育されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、即戦力となる人材育成に努める。</li> <li>・ 新型コロナの濃厚接触者となり、保健所の指示で授業を欠席せざるを得ないケースが複数あり、該当学生の補講については、今後も早めに対応するように努める。</li> <li>・ コロナ禍でボランティア等も勧められないがコロナ対策は本学でも常時換気、マスク着用、手指消毒、共有物の消毒等、教職員が率先して実践し就職後にも役立つものになっている。</li> </ul>

## 基準5 学生支援

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 クラス担任はじめ全職員できめ細かな就職指導やサポート体制をとっている。</p> <p>2 コロナ禍による経済的に困難な学生に対しては、学費の分納や「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」の利用を勧める等、その支援に努めた。</p> <p>3 新型コロナ対策として、日々の健康記録と毎朝の検温の実施及び健康対策として、年1回の健康診断を実施した。</p> <p>4 担任や関係職員、関係医療機関と連携し、保健医療体制をとっているが、学生の安全・安心の観点から更に保健衛生体制の充実が必要と考えている。</p> <p>5 こども園との連携によるキャリア教育・職業教育の伸長を図ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。</li> <li>・これまで聖心高校から女専に入学していた生徒が県内短大に流れていく傾向が高まっている。また、保育士として厳しい生徒も入学している現状である。学費が安いことは魅力の一つであるが、さらに魅力となるものを何か考えたい。</li> <li>・コロナ禍での生活様式を理解している学校内であった。</li> <li>・附属のこども園があることは大変良い。今後もこども園との連携を深めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活における学生のメンタル面にも配慮しながら、保育者になるという目的を失うことのないようにサポートしていく。</li> <li>・今後も本校の新型コロナ対策を継続実施し、校内から感染者を出さないように努める。</li> <li>・コロナ禍における教育実習の内容変更がこども園との連携の工夫改善の機会になった。</li> </ul>

## 基準6 教育環境

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 映像教材が授業で利用できる学習環境の上に一人一台のアイパッドを用意し観察実習や記録画像の発表等に活用できるようにした。各教室に換気扇の増設、密を避ける机・いすの配置、合同授業で大ホールの活用を実施した</p> <p>2 「環境教育」の一環として、四季折々の花を植え、花壇の整備を継続して行っている。今回は、千葉県より表彰された。</p> <p>3 4月より毎日放課後、職員による教室、廊下、各階のフロアー、トイレの清掃を行い、環境衛生と美化に努めてきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像教材が利用できる学習環境に改善されたようなので、今後も更なる充実を図っていただくとともに、発表できる力を高めていただきたい。視覚に訴えると脳に入りやすい。</li> <li>・いつも花壇に四季折々の花が咲いており、心が和む。花は季節を感じ、心の中が変わる作用がある。栽培の参考にもなると思う。</li> <li>・玄関を入るとすぐ、手作り感あふれる綺麗な空間が目に入り、とてもよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程に基づいた幼児教育に係る図書の整備を図るなど、学生の学習環境の更なる充実が必要である。次年度より1年生の観察実習には、計画的にアイパッドを活用し、個々の発表力を高めていきたい。</li> <li>・植栽の後、学生が当番で水やりを行っているが、草取りなども進んで行えるような心を育てていきたい。</li> <li>・保育現場でも役立つことなので、学生も一緒に行うようにしたいが、そのタイミングがむずかしい。</li> </ul>

## 基準7 学生募集

	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 学生募集については、募集担当の配置や高校への訪問、ホームページの活用、工夫を凝らしたオープンキャンパスの開催を継続的に行うことで、募集活動に努めている。</p> <p>2 継続して、高校訪問や説明会を行うにあたり、2年生の現役高校生を対象とした広報活動に力点を置いて取り組んだ。</p> <p>3 選考基準について明確に示し、その透明性を図り、選考や合否判定は適切に行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県内でも多くの各種学校や短大が増えているが、ホームページやチラシ等、目新しいデザインで更に努めていただきたい。</li> <li>いかに発信するかは重要であり、課題であると思う。</li> <li>この学校で学び、素敵な保育士や先生になる人が多くなるとよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の養成校としての実績をアピールしながら、引き続き学生募集に努める。</li> <li>学校案内やホームページのツイッター以外にも、気軽に手にでき、内容を見てもらえる3つ折りのコンパクトなパンフレットの作成を検討している。</li> </ul>

## 基準8 財務

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 学生数や事業計画に則り、収支予算を計上し、財務基盤の確保に努めている。</p> <p>2 予算執行にあたってのチェック体制は学園本部でおこなっており、監査法人による監査を年3回受け、理事会等への報告をするなど、適切な会計処理に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営が円滑に進むように、予算面での有効活用と節減に努める。</li> </ul>

## 基準9 法令遵守

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
<p>1 授業科目の単位取得は、定められた基準や条件にそって厳正に運用している。</p> <p>2 個人情報保護に関する規程や関係法令等に基づき、学生の個人情報等の保護の対策をとっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に対応している。今後も更なる向上に努めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の変更に伴う学則の改正を検討している。</li> </ul>

**基準10 社会貢献・地域貢献**

自己評価	学校関係者評価・意見等	改善方策等
1 本年度はコロナ禍で文化祭等の学校行事が中止になり、地域の方々の参加や招待ができなかった。また、近隣の保育園児を招いた交流も中止となった。	・ 行事が開催できなかったのは残念ですが、地域にこのような素晴らしい学校があることが自慢になる。	・ 学校行事が行えるようになったら、引き続き、保育活動をとおして地域交流の充実を図る。

学校法人 増田学園 千葉女子専門学校長 様

令和2年度の自己評価表をもとに学校関係者評価委員会の委員に評価を実施していただいた結果、上記のとおりとなりましたので報告します。

令和3年2月22日  
学校法人増田学園千葉女子専門学校  
学校関係者評価委員会